

Color Video Camera

安全のために
Safety Regulations
Réglements de sécurité
Инструкция по безопасности
Normativa de seguridad
Sicherheitsbestimmungen

お買い上げいただきありがとうございます。
【警告】
電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故にならぬことがあります。

この「安全のために」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱いいたを記してあります。この「安全のために」は、規制の取扱説明書とよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BRC-X1000
BRC-H800



© 2016 Sony Corporation Printed in China



安全のために

ソニー製品は安全に充分考慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがつて使ったときに、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ず守りください。

安全のための注意事項を守る。

・事故を防ぐために、ソニーの相談窓口に相談する。

【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

【注意】

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周囲の物品に損害を与えることがあります。

【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けががつながることがあります。

【警告】

下記の注意を守らないと、火災や感電、落下により死亡や大けががつながることがあります。

【警告】

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

この表示の注意事項は、本機と取り付け器具を含む重複してある強度があることを意味します。

十分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、使用状況に応じて落とし傷の間隔を短くしてください。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれると、漏電による感電発火の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

壁や天井に設置するときは、ACアダプターが落下しないようにしっかりと固定する

ACアダプターが落下して頭にあたると、大けがの原因となります。

【警告】

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると、倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因となることがあります。

ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

電池の使用に関するご注意

外線UVリモコンは、3型乾電池が2個必要です。

破裂の恐れがありますので、マガジン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

また、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

通気性の悪い場所に設置しない

内部で熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

通風をよくするための隙間をお守りください。

・毛皮長い動物（ヒョウなど）の上に置かない。

・布地などにまます。

ファンが止まつたままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。

交換は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

電源コードのプラグ及びコネクターは、突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに差し当てるまで差さない限り、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に依頼ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグなどの電源プラグを抜き差しする。

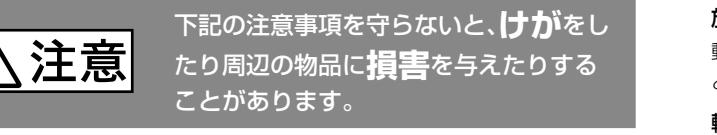
カメラの取り付けネジは確実に締めづける

取扱説明書の取り付け方法について確実に組み立てないと、落としてけがの原因となることがあります。

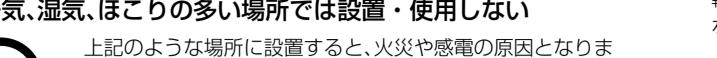
付属のワイヤーロープを利用して取りつける

高所での作業では機器の落下により通行人等に重大な危害を与えることがあります。

【指示】



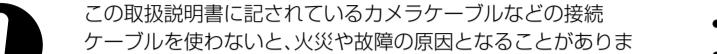
下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周囲の物品に損害を与えることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上のようないくつかの場所で設置すると、火災や感電の原因となります。

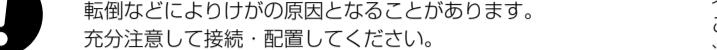
取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



指定されたカメラケーブルなどの接続ケーブルを使用する

この取扱説明書に記されているカメラケーブルなどの接続ケーブルを抜き差さない。

火災や感電の原因となることがあります。



コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかかると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

定期メンテナンスについて

本機は定期的にお掃除をするため、定期メンテナンスを行ってください。

充分注意して接続・配置してください。



内部に水や異物を入れない

水や異物があると火災や感電の原因となることがあります。

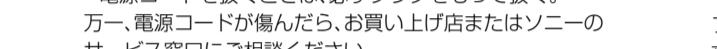
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



指定した給電装置を使用する

PoEでの電源供給は、取扱説明書で指定された給電装置を使用してください。

故障や誤動作の原因となります。



電源コードを傷つけない

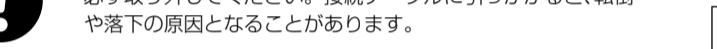
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

・設置時に、製品と壁やラック、鏡などの間にはさみ込まない。

・熱器具に付いたり、加熱したりしない。

・電源コードを抜いたときは、必ずラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



【注意】

ソニー製品は安全に充分考慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがつて使ったときに、火災や感電などにより死亡や人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ず守りください。

・安全のための注意事項を守る。

・事故を防ぐために、ソニーの相談窓口に相談する。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周囲の物品に損害を与えることがあります。



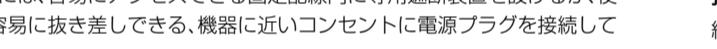
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



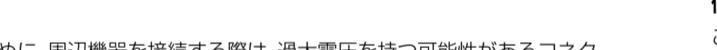
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



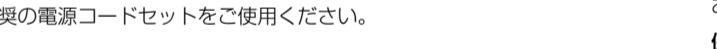
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



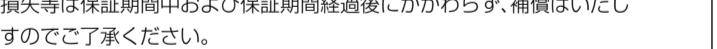
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



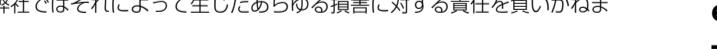
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



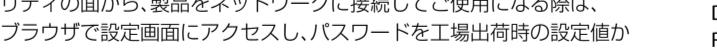
【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



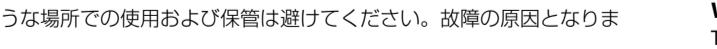
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



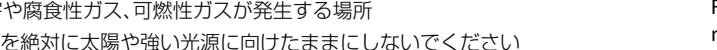
【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。



【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。

【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。

【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。

【注意】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。

【警告】

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電の原因となります。

Blitzlichtstreifen
Wenn Sie ein Stroboskoplicht oder ein schnell blinkendes Licht aufnehmen, kann die Helligkeit der oberen und der unteren Bildhälfte unterschiedlich sein.

Flimmern
Bei Aufnahmen unter der Beleuchtung von Entladungsrohren, z. B. mit Leuchtstoff-, Natrium- oder Quecksilberdampfplänen, kann es vorkommen, dass der Bildschirm flimmert; die Farben sich verändern oder horizontale Streifen verzerrt erscheinen. Aktivieren Sie in solchen Fällen die Funktion FLICKER CANCEL nicht, um das Flimmern zu stoppen.

Leuchtbild
Sie können solche Phänomene mit der Funktion FLICKER CANCEL nicht beobachten werden.

Es wird empfohlen, die Verschlusszeit in Gebieten mit einer Netzfrequenz von 50 Hz auf 1/100 s, und in Gebieten mit 60 Hz auf 1/60 s einzustellen.

Hinweis zu Laserschränen
Laserschränen können CMOS-Bildsensoren beschädigen. Wenn Sie eine Szene mit Laserstrahl aufnehmen, achten Sie darauf, dass der Laserstrahl nicht auf den Bildsensoren der Kamera gelenkt wird.

Dieser Lüfter ist ein Verteilerteil und muss regelmäßig ersetzt werden.
Wenn die Geschwindigkeit der Temperatur betrieben wird, sollte das Teil ca. alle 5 Jahre ersetzt werden.

Diese Ersatzteile stehen jedoch nur eine allgemeine Richtlinie und keine Garantie der Lebensdauer dieser Teile.
Weitere Informationen zum Austausch von Komponenten erhalten Sie bei Ihrem Händler.

Die Lebensdauer des Elektrolytkondensators beträgt bei normalen Betriebstemperaturen und normaler Verwendung etwa 5 Jahre.
Die Lebensdauer hängt von den Nutzungsbedingungen ab.

Bildsensor-spezifische Phänomene

Hinweis
Die folgenden Phänomene, die bei Bildern auftreten können, sind typisch für Bildsensoren. Sie stellen keine Fehlfunktion dar.

Welle Flecken
Obwohl Bildsensoren mit Präzisionstechnologie gefertigt werden, können in seltenen Fällen kleine weiße Flecken auf dem Bildschirm erscheinen, die durch kosmische Strahlungseinflüsse usw. hervorgerufen werden.

Dies ist durch das Funktion-prinzip von Bildsensoren bedingt und stellt keine Fehlfunktion dar.
Diese kleinen Flecken treten vornehmlich in den folgenden Fällen auf:

- bei Betrieb mit hoher Umgebungstemperatur
- bei erhöhter Verstärkung (höherer Empfindlichkeit)
- bei Verwendung langer Verschleisszeiten

Vertikale Lichtspuren
Wenn Sie ein extrem helles Objekt wie einen Scheinwerfer oder Blitz aufnehmen, werden ggf. vertikale Spuren auf dem Bildschirm wiedergegeben, oder das Bild wird verzerrt.

Aliasing
Beim Aufnehmen von feinen Mustern, Streifen oder Linien erscheinen diese möglicherweise gekräzt oder flimmernd.

Italiano

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.
Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

ATTENZIONE
Se la batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale e simile seguendo le raccomandazioni del produttore.

Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

AVVERTENZA
Questo apparecchio non è dotato di un interruttore di alimentazione.

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di collegamento prontamente accessibile nel cavo flessibile, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicino all'apparecchio. Qualsiasi verifica di un quarto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di collegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

ATTENZIONE
Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta.

ATTENZIONE - porta LAN
Per motivi di sicurezza, non collegare la porta LAN a dispositivi di rete a tensione eccessivamente elevata.

La porta LAN della presente unità deve essere collegata esclusivamente a dispositivi la cui alimentazione sia conforme ai requisiti di SELV (Safety Extra Low Voltage) o Limited Power Source in base a IEC 60950-1.

Collegare la Videocamera a colori solo a reti PoE senza connessioni all'impianto esterno.

IMPORTANTE
La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

Il telecomando a infrarossi richiede l'utilizzo di due pile formato AA (R6).

Per evitare il rischio di esplosione, utilizzare pile formato AA (R6) al manganese o alcalini.

Per i clienti in Europa, Australia e Nuova Zelanda

AVVERTENZA

Questo è un apparecchio compatibile con la classe A di CISPR 32 e come tale, in un ambiente residenziale, può causare interferenze radio.

ATTENZIONE
I campi elettromagnetici di particolari frequenze potrebbero interferire con l'immagine di questa unità.

ATTENZIONE
Quando si collega il cavo di rete dell'apparecchio al dispositivo periferico, utilizzare un cavo di tipo protetto per prevenire il malfunzionamento per rumore.

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.

Note sull'utilizzo

Prima dell'uso
• Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO.

COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTO O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA DIA SOPRA LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALSIUNQUE ALTRA RAGIONE.

• SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA QUESTO APPARATO DA TERZI.

• SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCONSTANZA DI SERVIZI CORRELATA A QUESTO APPARATO.

Dati e sicurezza
• SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO RISULTANTI DALLA MANCATA APPLICAZIONE DI MISURE DI PROTEZIONE ADEGUATE SU DISPOSITIVI DI TRASMISSIONE, DA INEVITABILI DIFFUSIONI DI DATI RISULTANTI DALLE SPECIFICHE TECNICHE DI UN APPARECCHIO O DA PROBLEMI DI CONVERGENZA DI IMMAGINI O DI COLORI.

• In base all'ambiente operativo, terzi potrebbero autorizzare alle persone a essere in grado di accedere all'unità. Quando si collega l'unità alla rete, accettarsi di confermare che la rete è efficacemente protetta.

PREDISTRIZIONE
In base alle impostazioni tramite un browser Web e modificate la password rispetto ai valori predefiniti.

Si consiglia anche di modificare la password regolarmente.

Luogo di funzionamento o di immagazzinamento
• Il funzionamento o la conservazione della telecamera nei luoghi di seguito indicati potrebbe compromettere la telecamera:

- Posizioni estremamente calde o fredde (temperatura di funzionamento: da -0 °C a +40 °C).

- Esposti diretti sole/radii diretti per molto tempo o vicino ad apparecchi da calore (ad es.: radiatori).

- In prossimità di potenti sorgenti magnetiche.

- In prossimità di potenti sorgenti di radiazioni elettromagnetiche, quali trasmettitori radio o televisivi.

- Luoghi soggetti a vibrazioni o urti.

- Luoghi con illuminazione irregolare (l'immagine risulterà tremolante).

- Luoghi esposti all'emissione di radiazioni o raggi X.

- Luoghi esposti all'emissione di gas corrosivi o inflamabili oppure in prossimità di aria o acqua salmastra.

• L'utilizzo di telefoni cellulari in prossimità della telecamera può impedire il corretto funzionamento della telecamera e compromettere la qualità delle immagini.

• Non dirigere mai l'obiettivo verso la luce solare diretta o altre sorgenti luminose molto intense.

Ventilazione
Per evitare il surriscaldamento, non bloccare la circolazione dell'aria attorno alla telecamera.

Trasporto
Per trasportare la telecamera, collocarla nuovamente nella confezione originale o utilizzare materiali analoghi.

Pulizia dell'unità principale
• Se il corpo della telecamera è sporco, pulirlo con un panno morbido inumidito con detergente neutro diluito e strofinare decisamente. Poi completare con un panno asciutto.

• Non usare mai tipi di solventi che potrebbero danneggiare la telecamera.

• Se si è puliti man mano gli strumenti, seguire le istruzioni.

• Non spruzzare liquidi volatili come per esempio insetticida sulla telecamera o altri materiali vinilici a contatto con la telecamera per lunghi periodi di tempo. Altrimenti si potrebbero danneggiare le finiture.

Mantenimento
Il meccanismo della telecamera potrebbe causare rumori anomali, a causa dell'usura o della mancanza di lubrificazione dopo un lungo periodo di utilizzo. Per mantenere le migliori prestazioni, si consiglia la manutenzione periodica. Se si verificano rumori anomali, consultare il rivenditore Sony.

Condensa
Qualora la unità venga spostata rapidamente da un ambiente freddo a uno caldo, oppure se la temperatura ambiente dovesse aumentare improvvisamente, è possibile che si formi umidità sulle superfici esterne dell'unità e/o al suo interno. Questo fenomeno è denominato condensazione. In tal caso, spegnere l'unità ed attendere la scomparsa della condensazione prima di riavviare. L'utilizzo dell'unità mentre è presente condensazione può causare danni all'unità stessa.

Mecanismo pan/tilt (panoramica e inclinazione)
Non interferire con il meccanismo pan/tilt (panoramica e inclinazione) mentre è presente alimentazione alla telecamera. In caso contrario potrebbero verificarsi danni.

Non toccare l'involucro della telecamera, l'obiettivo o altre parti di essa.

Dies è dunque il funzionamento di questi componenti.

Impostazione funzione della telecamera
Prima di impostare la funzione della telecamera, come pan/tilt, angolo di visione, zoom, ecc., installare la telecamera correttamente e fissarla saldamente. Se si modifica l'installazione della telecamera dopo aver impostato le funzioni, possono insorgere differenze con i valori preimpostati.

Registrazione di un'immagine
Verificare che l'immagine sia visualizzata correttamente. In caso contrario (immagine distorsa ecc.), spegnere e riaccendere la telecamera.

Striscia flash
Se si riprende una luce stroboscopica o a velocità intermitte, la luminosità può variare tra la metà superiore e inferiore dell'immagine.

Tremolio
Se la registrazione viene effettuata con illuminazione prodotta da tubi a scarica elettrica, ad esempio lampade fluorescenti o ai vapori di sodio o di mercurio, lo schermo potrebbe presentare fenomeni di tremolio, il colori potranno apparire altrettanto che le righe orizzontali potranno apparire distorte. In tal caso, attivare la funzione FLICKER CANCEL.

In base al tipo di illuminazione, tuttavia, la funzione FLICKER CANCEL non è in grado di correggere questi fenomeni.

Si raccomanda di impostare la velocità di otturazione su 1/100 sec. laddove la frequenza di energia elettrica di rete abbia frequenza di 50 Hz e su 1/60 se la frequenza è di 60 Hz.

Nota sui rai laser
I rai laser possono danneggiare i sensori immagine CMOS. Quando si riprende una scena in cui si presenta un raggio laser, far attenzione a non dirigere il raggio laser sui sensori immagine della telecamera.

Transportiera
Prima di trasportare la camera, appalluttarne la cerniere e le viti.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.

• Non utilizzare la cerniere per trasportare la camera.